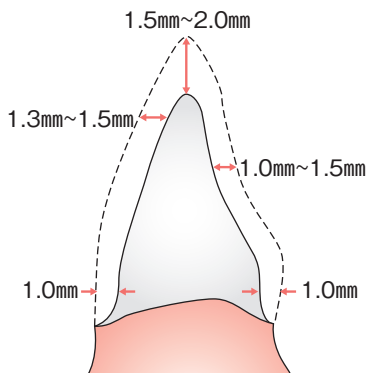


3D Design Lab プレパレーションガイド

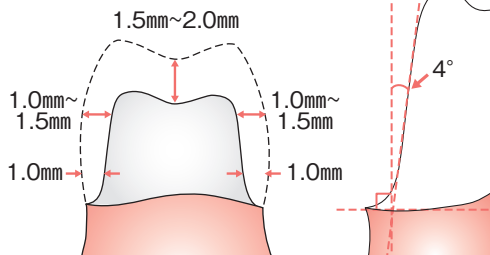
チェアサイド

前歯支台歯形成 (コーピング)



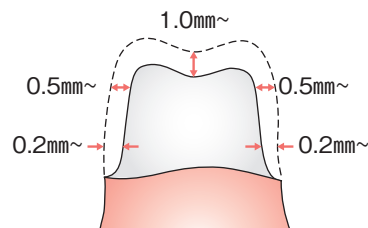
支台歯形成は丸みを帯びた形態にし、鋭角なエッジのある形成は避けてください。
(CAMマシンのバーが鋭角な部分の加工ができなくなるため)

臼歯支台歯形成 (コーピング)



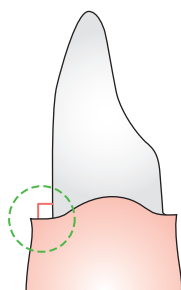
軸面のテーパは軸軸に対し4度以上に形成してください。

臼歯支台歯形成 (フルクラウン)



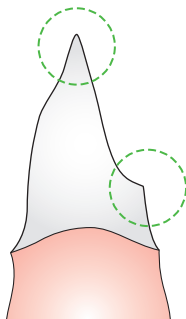
深い溝や窩を付与したい場合は、コーピングの支台歯形成を参照してください。

禁忌事項



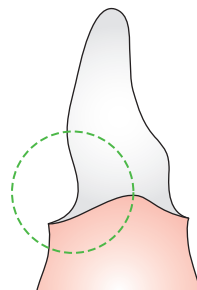
90°のショルダー

- ・フェザーエッジ
- ・ナイフエッジ

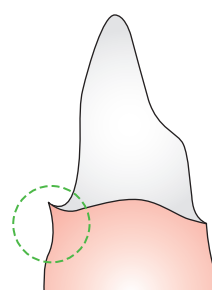


鋭利な角

- ・テーパが0度のもの
- ・マージンラインが凸凹なもの



アンダーカット



ジャンピングショルダー

- ・グループ加工
- ・ショルダーの長いもの

禁忌な支台歯形成の場合は、製作できない可能性があることをご了承ください。

特記事項

- ・ご使用になるダイヤモンドバーはメタル形成用よりも太めのバー（オールセラミック用）をご使用下さい。
- ・ポンティックの連続2本、延長ポンティック1本までは保証の対象内になりますが、それ以上に関しましては保証対象外とさせていただきます。
- ・ブリッジの形成では支台歯の間隔を3mm以上確保して下さい。鼓形空隙が再現出来ない場合がございます。
- ・支台歯形成の状態が良くない場合は、出来上がりの状態も悪くなる場合がございます。
- ・ソフト上の制限や切削ドリルの条件により、添付されたワックスアップの通りに製作できない場合がございます。